

## 令和元年度 後期卒業式 式辞

夙川を渡る風に春の訪れが感じられる 今日この佳き日、PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者並びにご家族の方々のご出席を賜り、ここに令和元年度兵庫県立西宮香風高等学校後期卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました 178名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。今日の卒業の日までには、あきらめそうになった日も、くじけそうになった日もあったことでしょう。しかし、みなさんはやり抜きました。これまでのみなさんの努力に対して、深い敬意を表したいと思います。

ご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。これまで支えてこられたご家族の皆様には、さぞやご苦勞もおありだったことでしょう。立派に卒業の日を迎えられた姿に、感慨もひとしおのことと存じます。また、この場をお借りいたしまして、これまで本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

さて、今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ観点から、在校生は代表者のみの参列とし、式場の座席の間隔を空けるなどの対応を行っておりますことをご理解ください。

卒業生のみなさん、ひと月前には想像もできなかった現在のこの事態から、私たちは何を学ぶことができるのでしょうか。

第一に、正しい情報や知識がとても大切であるということです。例えば、インターネット上に流れている科学的な根拠に基づかない怪しげな感染予防対策に惑わされていないでしょうか。正しい手洗いや咳エチケットを知ることで、自分だけでなく、周囲の人々の健康と命を守ることができます。

第二に、正しい情報や知識に基づいた行動を取るということです。感染した方々や中国から帰国された方々、日本に居住している外国人の方々への偏見や差別があってはなりません。人間は不安になると、他者を攻撃しがちです。しかし、こんな時だからこそ、困難な状況に置かれている人々のことを忘れず、冷静かつ暖かい心を持って行動することは、人としてとても大切なことです。

正しい知識を学ぶこと、困難な状況にある友のことを思いやること。この2つのことは、みなさんが西宮香風高校で身につけられたこと、そのものです。香風高校でこそ学べたこと、香風高校でこそ出会えた友人は、みなさんの生涯の宝物

になることでしょう。

私は今、西宮香風高校に入学しながらも、様々な理由で学校を去り、卒業生の列に加われなかった生徒のことも思っています。その生徒たちも含め、香風高校での学びや出会いは、香風高校に関わった全ての人の人生を豊かなものにしてくれるものと私は信じています。西宮香風高校は、そんな不思議な力があふれている場所です。みなさんが卒業されても、この学び舎は、ずっとここに 있습니다。悲しいとき、苦しいときは、母校のことを思い出してください。

いよいよお別れの時が近づいてきました。みなさん、どうか幸せな大人になってください。何が「幸せ」なのかは決まっていません。あなたの人生を「幸せ」と思うのはあなた自身です。自分の歩幅でいいのです。一步一步、歩いていってください。卒業生のみなさん全員が自分を大切に、そして幸せな人生を送られることを心からお祈りして、式辞といたします。

令和2年2月29日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子